

2025年度

# 事業報告書

2025年4月 1日から

2026年3月31日まで

公益財団法人 奈良県労働者福祉協議会

# 目 次

	ページ
1. 勤労者の福祉の向上を目的とする事業報告	1
(1) 第78回奈良県勤労者体育大会	1
(2) 第22回健康ふれあいウォーク	1
(3) 2025年度退職準備セミナー	2
(4) 奈良県勤労者美術展	2
(5) 広報宣伝活動について	2
2. ライフサポートセンター事業報告	2
(1) 【ライフサポートセンター奈良 (LSC奈良)】	2
(2) 【ライフサポートセンター南和 (LSC南和)】	3
3. 障害者に対する就労支援事業	4
4. 奈良県労働者福祉協議会の会員に対する福祉事業及び 地区労福協への助成事業	4
(1) 第96回メーデー奈良地方大会について	4
(2) 地区労福協への助成	4
5. 理事会の開催	5
6. 役員・評議員	5
(1) 奈良県労働者福祉協議会 役員	5
(2) 奈良県労働者福祉協議会 評議員	5
附属明細書について	6

# 【2025年度事業報告】

## 1. 勤労者の福祉の向上を目的とする事業報告(公益目的事業 I)

### (1)第78回奈良県勤労者体育大会

#### 1)軟式野球の部

8月23日の開会式に、1回戦で対戦するJR 連合奈良電車区チームと奈良市職員組合 B チームの2チームが参加した。選手宣誓は、JR 連合奈良電車区チームの代表が行い、今年の開幕となった。

今大会は20チームの参加があったが、天候にも恵まれ予定通りに試合進行することができた。但し、近年の気温上昇により、熱中症対策を取り入れながらの開催となった。

今大会は昨年に引き続き女性の参加もあり、女性も参加する野球大会へと男女が共同参画できるスポーツへと定着しつつある。また、今大会の大きな特徴としては、決勝戦でジェイテクト労働組合とジェイテクト奈良工場野球部となり同組織の戦いとなり、ヘルメットやバットなどの道具を貸し借りしながらの珍決勝戦となりました。優勝は、ジェイテクト奈良工場野球部となりました。

#### 2)卓球の部

10月4日(土)に南部生涯スポーツセンターにて卓球大会を開催しました。

今年は、9チームの参加がありブロック別にリーグ戦を行い、各ブロックの1位チームによるリーグ戦を行いました。

県職連合 A チームと JR 連合チームの決勝戦は、接戦の県職連合 A が優勝を果たしました。

#### 3)バレーボールの部

9月20日(土)に西部生涯スポーツセンターで男子4チーム・女子2チームの参加によるバレーボール大会を開催しました。

男子4チームによるリーグ戦を行い、ジェイテクト奈良が8年連続優勝を果たしました。

女子は、県職連合とヤマト運輸労組との決戦となり、県職連合が勝利しました。

#### 4)ソフトテニスの部

9月21日(土)に奈良市柏木コートで4チームによるソフトテニス大会を開催しました。

試合は、4チームによるリーグ戦とし、奈良県職員労働組合が2年連続の優勝となりました。

#### 5)フットサルの部

9月27日(土)にフットサル大会をトドロキフットサルガーデンで開催しました。

今年は、8チームの参加によるブロック別にリーグ戦を行い、優勝決定戦および3位決定戦を行いました結果、きんでん労組奈良支部 A は優勝、JR 連合が準優勝となりました。

### (2)第22回健康ふれあいウォーク

第22回健康ふれあいウォークは、5月24日(土)『記紀』に記される日本最古の道である「山の辺の道」で開催し、近鉄桜井駅前を出発し仏教伝来の地・大神神社・檜原わらべ 花の里(昼食・抽選会)・檜原神社・箸墓古墳などを巡り、JR 巻向駅まで約7キロの道のりを歩く予定としました。奈良県退職者連合の皆さんと近畿労働金庫高田支店や桜井支店の「いきいき倶楽部」、各組織や一般参加を含め、総勢93名の参加となりました。

当日は、近鉄桜井駅を出発して仏教伝来の地・大神神社まで進んだところで雨が強くなり、以降の行程は中止とし、昼食時に予定していた抽選会を行い記念写真撮影後解散となりました。

### (3)退職準備セミナー

退職準備セミナーについて、年間二回の開催とし前期と後期に分けて開催しています。

前期である第一回セミナーは、6月14日(土)に奈良県社会福祉総合センターで開催し、38人が参加しました。講師には、社会保険労務士である「信夫将恵(しのぶ社労士事務所)」さんを講師とし『退職に向けて知っておきたいこと～余裕をもって計画を～』と題した講演を受けました。

第2回セミナーは12月7日(土)に奈良市生涯学習センターで開催し30人が参加しました。

講師には、社会保険労務士である「細川芳香(細川社会保険労務士事務所)」さんを迎え、「素晴らしいセカンドステージのために」～よりよい退職準備の“すすめ”～と題した講演を受けました。

この「退職準備セミナー」は、退職後(60歳定年時、再雇用終了時65歳)の生活設計を立てるにあたり、年金・雇用保険・健康保険・税金・共済等に関する知識や情報を提供する講座となっています。

また、セミナーの一部として近畿労働金庫からは退職金の資産運用等、こくみん共済coopからは退職後の保障(共済)等について、説明を行っています。

### (4)第66回奈良県勤労者美術展

2025年度、奈良市美術館(ミ・ナール5階)では奈良市の展示開催を優先するため、一般からの申し込みについては開催可能な日程がなく、生駒市の美術館(美楽来)についても年内に空き状況がないことが確認されました。毎年の出展数は約150点となるため、奈良県北部に展示可能な施設がなく、今年度については勤美展の開催を見合わせる事となりました。

### (5)広報宣伝活動

#### (1)「労福協だより」の発行

労福協の機関誌として「なら労福協だより」を発行しており、事業の案内や実施報告、また福祉事業団体の案内等を、年3回発行しました。

#### (2)ホームページの充実

各種行事等の予定や報告記事を中心に掲載しました。また、より内容の充実を図るためホームページの刷新に着手しました。

## 2. ライフサポートセンター事業(公益目的事業Ⅱ)

### 【ライフサポートセンター奈良】

ライフサポートセンター奈良は、2008年12月3日に「生活なんでも無料相談所」として、奈良市内に設立されました。これまでの17年余間で6,500件以上の相談を受け、昨年度は451件に対応しました。

日々の生活の中での些細な問題をはじめ、雇用や労働条件などの労働相談、高齢者介護、生活全般相談といった暮らしや福祉の幅広い問題について、ワンストップ(相談者をタライ回しにしない)を基本とし、多様な分野のエキスパートの協力を得ながら相談を受けました。また他の紹介も全451件中60件とワンストップを基本に対応しています。これからも「ライフサポートセンター奈良」は地域と職場、行政と市民をつなぐ身近なコーディネーターの役割を発揮するとともに、相談活動をより多くの方々に知っていただくための取り組みを進めていきます。

#### 1. 2025年度の相談状況

昨年4月1日から本年3月31日までの相談件数は451件(2024年度473件)と、前年度比22件の減となりましたが4年つづけて400件以上となっています。

男女別では2025年度は女性が38%、男性が62%(2024年度は女性が41%、男性が59%)でした。年齢別では50歳代が257件57%と半数以上を占め、次いで70歳代以上が65件、40歳が58件、60歳が44件など、20歳以上の幅広い年齢層から相談がありました。相談方法では、電話相談が348件、面談が98件、メールが5件となっています。また月2回実施している土曜日相談も30件の相談がありました。

相談項目については、家庭・親族問題が 48 件、労働関係が 28 件、生活環境が 24 件、相続・後見・贈与が 15 件などとなっています。特に一定の相談項目に該当せず内容も多岐にわたるといふその他の相談が近年増えており、今年度 268 件と全体の 6 割近くを占め、まさに日常生活の些細な相談も受けるといふ「生活なんでも相談所」となっています。

## 2. 広報活動の充実

- LSC 奈良 HP(<https://lsc-nara.org>)とeメール相談の設置継続
- 「連合奈良の日」のLSC 幟の設置と周知
- 生駒市、郡山市の公共施設でチラシ配架
- ミ・ナーラ HP の案内表示
- 「生活なんでも無料相談」看板の設置

### 【ライフサポートセンター南和】

2011 年 2 月に(財)奈良県労働者福祉協議会を中心に近畿ろうきん、こくみん共済コープ、連合奈良、橿原市労働者福祉協議会の 5 団体の共同事業で、『ライフサポートセンター南和』をオープンし、『生活なんでも相談ダイヤル』として 15 年目に入っています。この間の相談件数は 4,320 件あり、南和地区の拠点として 1 ヶ所の窓口で相談を受けられる『ワンストップサービス』として対応しています。また、今年度も引き続き「フードバンク奈良」の中南和地域の中継地点として物資の持ち込みや、生活困窮相談者への食品提供、橿原市でのフードパントリーの実施に向け、ライフサポートセンター南和の相談員などと連携して取り組みを行っています。

### 1. 2025 年度の相談状況

■2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月末までの相談件数は 220 件でした。

■相談者は、正社員 38.2%、非正規労働者 30.5%、無職 2.3%、年金受給者 22.7%、自営業 0.9%、その他 5.5%でした。

男女別においては男性が 82.3%、女性 17.7%と男性相談者が 8 割以上を占めています。年齢別では 20 歳代が 29.1%と一番多く、60 歳代 22.7%、70 歳代 22.3%、50 歳代 13.2%、40 歳代 3.2%、その他 0.9%と続いています。

■相談内容では、その他に含んでいる精神面に問題を持つ相談者や生活困窮者が 80%以上占めています。労働問題関係の相談者が 1.8%(4件)ありました。

■相談は、電話 118 件(53.6%)、面談 102 件(46.4%)、メールは 0 件(0%)でした。

相談回数 4 回以上が 199 件(90.5%)を占め、メンタル面に問題を抱える相談者の連続した相談が多くありました。

■認知媒体は、連合奈良の日で配布したチラシや、橿原市をはじめ、各自治体に置いているチラシや、事務所入口の案内板、知人紹介等が上位を占めています。今後も様々な手段で PR に努めていきます。

■相談者の市町村別では、地元橿原市が 56.4%、宇陀市 29.1%、奈良市 6.8%、大和高田市5%、桜井市 0.9%、生駒市、香芝市、県内郡、他府県がそれぞれ 0.5%でした。

### 2. 2025 年度の主な取り組み

- 中央労福協 WEB 学習会への参加
- 労働相談共有会への参加
- ライフサポート研修会への参加

### 3. 広報宣伝活動

- LSC 南和 HP(<https://lsc-nanwa.com/>)と e メール相談の設置継続
- 「連合奈良の日」のLSC幟の設置と、ビラ『生活なんでも相談』を配布
- LSC 南和の入居施設大松ビル1階に案内表示

### 3. 障がい者に対する就労支援事業(公益目的事業Ⅲ)

今年度は勤美展が中止になったことから、「障がい者のアート展」からの招待作品として特別展示や会場での受付など運営を担当していただき事が出来なかった。しかし今年度からは新たに奈良県社会就労事業振興センターのご協力により、連合奈良ピースフェスティバルにて障がいを持つ方が自らクッキーなどのお菓子販売を行うことができ、社会との係わりを実感できる機会を設けることができた。

### 4. 奈良県労働者福祉協議会の会員に対する福祉事業及び地区労福協に対する助成(その他事業Ⅰ)

#### (1)メーデー奈良地方大会

開催日時・場所 2025年4月26日 10時開会 奈良公園・県庁前広場

規 模 3000人

〈第一部〉	ア 開 会 挨拶	実行委員会事務局長(連合奈良事務局長)
	イ 実行委員長挨拶	実行委員長(連合奈良会長)
	ウ 来賓祝辞・祝電披露	
	エ メーデーカンパのお礼	一般社団法人 障害者雇用促進センター代表理事
	オ フードバンク贈呈	特定非営利活動法人フードバンク奈良代表理事
	カ 大会宣言採択	連合奈良副事務局長
	キ プラカードコンテスト表彰式	実行委員長(連合奈良会長)
	ク 団 結 ガ ン バ ロ ー	副実行委員長(連合奈良会長代理)
	ケ 閉 会 挨拶	実行委員会事務局長(連合奈良事務局長)

〈第二部〉 デモ 参加人数 690人

フードドライブの取り組み

昨年同様、当日会場への持ち込みが困難なことを見据え、連合奈良執行委員会を通じ、事前に各地協や連合奈良へ持ち込むこととした。また、昨年以上の件数を確保することを目的にメーデー直前に再度各産別への要請を行った。そうした結果、集約状況については、昨年の81件に対し今年は218件と大きく上回る結果となった。このことは、取り組みを強化することにより、浸透が深まる証であり、日常の活動を通じた、組合員全体へ浸透させるため、通年を通じた取り組みが必要である

#### (2)地区労福協への助成

地区労福協に対して、奈良県労働者福祉協議会ではカバーしきれない部分を補い、活動の活性化とサポートのための助成を行ってきた。

### 5. 理事会の開催

- ① 第316回理事会 2025年5月15日(木) 奈良地域労働文化センター  
議 題 第1号議案 2025年度会員集会の開催について  
第2号議案 2024年度事業決算報告及び付属明細について  
第3号議案 第78回奈良県勤労者体育大会の開催判断について  
第4号議案 役員改選について  
第5号議案 ライフサポートセンター賃貸借契約について
- ② 第317回理事会 2025年5月30日(金) リガーレ春日野  
議 題 第1号議案 (公財)奈良県労働者福祉協議会理事会構成について  
第2号議案 嘱託職員の新規雇用について
- ③ 第318回理事会 2025年8月21日(木) エルトピア奈良  
議 題 第1号議案 県監査に基づく指摘事項の改善について  
第2号議案 2025年度収支予算の補正について  
第3号議案 全国福祉強化キャンペーンの取り組みについて

- ④ 第 319 回理事会 2025 年 10 月 16 日(木) エルトピア奈良  
 議 題 第 1 号議案 2025 年度中間決算報告書  
 第 2 号議案 第 24 回評議員会の開催について  
 第 3 号議案 ライフサポートセンター相談員研修について  
 第 4 号議案 第 67 回奈良県勤労者美術展の開催について
- ⑤ 第 320 回理事会 2025 年 11 月 20 日(木) エルトピア奈良  
 議 題 第 1 号議案 (公財)奈良県労働者福祉協議会理事会構成について
- ⑥ 第 321 回理事会 2026 年 3 月 19 日(木) エルトピア奈良  
 議 題 第 1 号議案 2026 年度事業計画及び収支予算書について  
 第 2 号議案 第 25 回評議員会(定時)の開催について  
 第 3 号議案 2026 年度会員集会の開催方法について  
 第 4 号議案 2026 年度労福協主催行事日程について

## 6. 役員・評議員(2026年 3 月31日現在)

### (1)奈良県労働者福祉協議会 役員

理事長	水野 仁	連合奈良会長
副理事長	岡田 有理	教育連合奈良県協議会議長
副理事長	榎谷 英樹	近畿労働金庫奈良地区事務局長
副理事長	末吉 英男	こくみん共済 coop 奈良推進本部事務局長
事務局長	山本 勝	労福協
理事	田中 篤史	電機連合奈良地方協議会議長
理事	栗岡 勝也	こくみん共済 coop 奈良推進本部部長
理事	駒井 亮	私鉄奈良県連常任委員
理事	森本 哲次	一般社団法人 障害者雇用促進センター
理事	小南 昌紀	認定 NPO 法人 フードバンク奈良
理事	近藤 伸一	教職員共済生活協同組合
理事	服部 永次	奈良県社会保険労務士会
理事	隅谷 正行	奈良退職者連合
監事	中谷 恵輔	私鉄奈良県連常任委員
監事	谷口 晃一	近畿労働金庫奈良支店支店長

### (2)奈良県労働者福祉協議会 評議員

評議員	吉村 聖子	自治労奈良県本部副委員長
評議員	伊垣 昭彦	UA ゼンセン奈良県支部次長
評議員	渡邊 英一	私鉄奈良県連事務局長
評議員	河本 章吾	電機連合奈良地方協議会事務局長
評議員	宮下 真二	奈良県電力総連事務局長
評議員	西田 一美	近畿労働金庫奈良地区本部本部長
評議員	山原 一志	こくみん共済 coop 奈良推進本部本部長

2025年度(令和7年度)事業報告には、「一般社団法人及び一般社団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2026年 4 月

公益財団法人 奈良県労働者福祉協議会

# 2025年度財産目録及び付属明細書、貸借対照表、正味財産増減計算書

法人名：公益財団法人 奈良県労働者福祉協議会

## 財 産 目 録

令和 8年 3月 31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
<b>(流動資産)</b>				
	現金	事業所	運転資金として	69,123
	普通預金	近畿労働金庫奈良支店	運転資金として	1,103,604
	未収金	奈良県	公益目的事業未収補助金	2,799,000
	前払金	奈良市総合財団ほか	来年度費用の前払い分	205,717
	立替金	奈良税務署	職員の年末調整還付金の立て替え分	5,864
	周年事業積立金	近畿労働金庫奈良支店	周年事業用の資金として	319,547
	福祉事業積立金	近畿労働金庫奈良支店	福祉事業用の資金として	773,939
<b>流動資産合計</b>				<b>5,276,794</b>
<b>(固定資産)</b>				
<b>特定資産</b>				
	退職給与積立金(特)	近畿労働金庫奈良支店	役員退職給与引当金資産として	0
	定期預金(特)	近畿労働金庫奈良支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業共用の財源として	30,066,229
	普通預金(特)	近畿労働金庫奈良支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業共用の財源として	5,468,157
	出資金(特)	近畿労働金庫奈良支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業共用の財源として	70,100,000
	貸付金(特)	㈱奈良平城 保証金	公益事業を遂行するための貸付保証金であり公益目的保有財産である	2,000,000
<b>その他固定資産</b>				
	出資金	近畿労働金庫奈良支店	運用益を公益目的事業共用の財源として	646,000
<b>固定資産合計</b>				<b>108,280,386</b>
<b>資産合計</b>				<b>113,557,180</b>
<b>(流動負債)</b>				
	預り金	職員	源泉所得税/社会保険料/住民税	126,711
<b>流動負債合計</b>				<b>126,711</b>
<b>(固定負債)</b>				
	役員退職給与引当金	職員	公益目的事業及び管理目的の業務に従事する役員退職給与の引当金	0
<b>固定負債合計</b>				<b>0</b>
<b>負債合計</b>				<b>126,711</b>
<b>正味財産</b>				<b>113,430,469</b>

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
特定資産	退職給与積立金(特)	1,500,020	500,211	2,000,231	0
	定期預金(特)	30,008,706	57,523	0	30,066,229
	普通預金(特)	5,465,535	2,622	0	5,468,157
	出資金(特)	70,100,000	0	0	70,100,000
	貸付金(特)	2,000,000	0	0	2,000,000
	特定資産計	109,074,261	560,356	2,000,231	107,634,386

2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
役職員退職給与引当金	1,500,000	500,000	2,000,000	0	0

## 貸借対照表

令和 8年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	1,172,727	2,152,921	△ 980,194
未収金	2,799,000	2,799,000	0
前払金	205,717	8,660	197,057
立替金	5,864	43,553	△ 37,689
周年事業積立金	319,547	219,124	100,423
福祉事業積立金	773,939	773,569	370
流動資産合計	5,276,794	5,996,827	△ 720,033
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
退職給与積立金(特)	0	1,500,020	△ 1,500,020
定期預金(特)	30,066,229	30,008,706	57,523
普通預金(特)	5,468,157	5,465,535	2,622
出資金(特)	70,100,000	70,100,000	0
貸付金(特)	2,000,000	2,000,000	0
特定資産合計	107,634,386	109,074,261	△ 1,439,875
(3) その他固定資産			
出資金	646,000	646,000	0
その他固定資産合計	646,000	646,000	0
固定資産合計	108,280,386	109,720,261	△ 1,439,875
資産合計	113,557,180	115,717,088	△ 2,159,908
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
預り金	126,711	147,731	△ 21,020
流動負債合計	126,711	147,731	△ 21,020
2. 固定負債			
役員退職給与引当金	0	1,500,000	△ 1,500,000
固定負債合計	0	1,500,000	△ 1,500,000
負債合計	126,711	1,647,731	△ 1,521,020
<b>III 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産	0	0	0
2. 一般正味財産	113,430,469	114,069,357	△ 638,888
正味財産合計	113,430,469	114,069,357	△ 638,888
負債及び正味財産合計	113,557,180	115,717,088	△ 2,159,908

正味財産増減計算書

令和 7年 4月 1日 から令和 8年 3月 31日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益			
特定資産受取利息	60,356	697	59,659
特定資産受取配当金	1,420,561	1,420,423	138
特定資産運用益計	1,480,917	1,421,120	59,797
受取会費			
普通会費	3,500,000	3,500,000	0
特別会費	13,000,000	13,400,000	△ 400,000
受取会費計	16,500,000	16,900,000	△ 400,000
事業収益			
体育大会参加費	479,000	430,000	49,000
各種参加費	93,500	128,000	△ 34,500
事業収益計	572,500	558,000	14,500
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	2,799,000	2,799,000	0
ライフサポート事業交付金	2,320,000	2,320,000	0
受取補助金等計	5,119,000	5,119,000	0
雑収益			
受取利息	5,116	481	4,635
雑収益	153,200	150,000	3,200
手数料収入	31,232	43,448	△ 12,216
雑収益計	189,548	193,929	△ 4,381
経常収益計	23,861,965	24,192,049	△ 330,084
(2) 経常費用			
事業費			
役員報酬	620,907	3,725,440	△ 3,104,533
給料手当	5,216,067	2,291,150	2,924,917
賃金	3,829,340	4,023,372	△ 194,032
退職給付費用	310,453	310,453	0
福利厚生費	867,390	815,458	51,932
渉外費	84,915	217,353	△ 132,438
旅費交通費	462,161	612,748	△ 150,587
通信運搬費	352,781	365,671	△ 12,890
消耗品費	309,502	446,549	△ 137,047
印刷製本費	4,850	142,810	△ 137,960
広告宣伝費	570,151	409,957	160,194
事務所費	578,494	433,993	144,501
会場借料	2,323,824	2,405,931	△ 82,107
保険料	101,550	133,058	△ 31,508
専門家謝金	359,000	732,088	△ 373,088
講師謝金	67,284	67,224	60
地区労福助成金	600,000	600,000	0
報賞品費	65,838	141,340	△ 75,502
事業費計	16,724,507	17,874,595	△ 1,150,088
管理費			
役員報酬	379,093	2,274,560	△ 1,895,467
給料手当	3,184,660	1,398,856	1,785,804
退職給付費用	189,547	189,547	0
福利厚生費	529,583	497,877	31,706
会議費	612,020	440,827	171,193
渉外費	74,444	35,118	39,326
旅費交通費	247,345	326,161	△ 78,816
通信運搬費	102,155	114,963	△ 12,808
消耗品費	109,939	207,600	△ 97,661
印刷製本費	5,592	4,180	1,412
広告宣伝費	318,009	250,299	67,710
事務所費	353,199	264,973	88,226
組織対策費	60,000	89,931	△ 29,931
団体会費	354,264	335,213	19,051
図書新聞費	0	6,000	△ 6,000
公益事務費	1,256,496	1,005,476	251,020
管理費計	7,776,346	7,441,581	334,765
経常費用計	24,500,853	25,316,176	△ 815,323
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 638,888	△ 1,124,127	485,239
当期経常増減額	△ 638,888	△ 1,124,127	485,239
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 638,888	△ 1,124,127	485,239
当期一般正味財産増減額	△ 638,888	△ 1,124,127	485,239
一般正味財産期首残高	114,069,357	115,193,484	△ 1,124,127
一般正味財産期末残高	113,430,469	114,069,357	△ 638,888
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	113,430,469	114,069,357	△ 638,888